

# FRIENDS OF GREEN

フレンズ オブ グリーン

緑友会コミュニケーション誌

1998年8月発行

No. 97

佐賀県鹿島市大字納富分2907-1  
発行人 松浦 正欣 佐賀県印刷人若楠会  
編集人 やまなし印刷若人会



第41回 全国印刷緑友会あおり総会

 全国印刷緑友会

# 全国印刷緑友会2年目の方針

汲めどもつきぬ知恵の泉・・・緑友

もう5年ぐらい前のことでしょうか、緑友の仲間のある人から1通のFAXがひょっこりと届きました。「世の中デジタル・デジタルと言っているのに経営者自身がパソコン一つ扱えないなんておかしいんじゃないですか、一つパソコンの勉強会でもしませんか」と言うお誘いでした。これは面白そうだと、好奇心旺盛な私のこと即参加する事にしたんです。

着いたところは、もう地名は忘れてしまいました。が奈良県の山の中、夜になると周囲は明かり一つない寂しいところのそれはそれは立派なホテルでした。

さて初日は、注文していたパソコンの包装を解くところから始まり、ソフトのインストール。勉強会は名目で夜はゆっくり酒でも飲もうかと思っていた私の魂胆は見事に裏切られてしまい、二泊三日の間「デーメーカー」と「インスピレーション」それに開けたばかりの「マイコンピューター」との大格闘の日々でした。

それでも、全国から集まった緑友の仲間達と、「ああでもない、こうでもない」とやり合った三日間は、それはそれは楽しい三日間でした。

ちなみに、その時使った「デーメーカー」は、今でも私のスケジュール管理に使ってますし、「デーメーカー」と同じ内容のソフトで「ナウアップツードット」と言う一万円ちょいのソフトを使って工場の工程管理をしています。今のところ完璧に行程が進行しています。なんとありがたいことでしょうか。

私はここに緑友の良さがあるように思うんです。「友情」「ネットワーク」これまでの四十年の歴史の中で常に唱えられてきたことです。それに「楽しさ」が加えられるともうこれは完璧な緑友でしょう。

今それぞれが抱えている様々な悩みや問題をそれを必要としているメンバーが集まってワイワイガヤガヤ楽しく学べる、そんな緑友であれば最高じゃないですか。もちろん三つのイベントは大切だという事に代わりはありませんが。

次に、今年度から「緑友サーバー」(仮称)の試験に入りました。これは、緑友にある様々な資料をデジタル化にすることで管理や次の世代への受け渡しを完全に出来るようにしようと言う発想の始まりでした。しかし、インターネットやメールを併用すると、メンバー間のネットワークが飛躍的に活発になることと、年に数回しか顔を合わせる事の出来ないメンバー同士の交流によりこれまでよりももっと友情を深めることが出来るのではないかと思うんです。

「緑友サーバー」は緑友を変える。決してオーバーな表現ではないと確信しています。



# 第41回 全国印刷緑友会あおもり総会

素晴らしい晴天に恵まれた5月23日、「第41回全国印刷緑友会あおもり総会」には全国から34グループ、164名の参加を得て三沢市の古牧温泉で開催されました。式典では、松浦会長は「友情と修練を深めてほしい」とあいさつされ、また3日前に理事長に就任された青森県工組の木村氏からは、「変革の旗手たれ」と緑友の若い力に大いに期待をしていると祝辞をいただきました。

さて、総会に入り、会則の一部変更を含む6つの議案が審議されました。会費改定、名簿の発行、募金の使用などに関して活発な議論が交わされました。次の総会は徳島一二会の主管で開催することを決定して審議を終了しました。

続いて各部屋10名ほどに分かれてルームディスカッションを行いました。そこでは未知の人との出会いや生の情報を交換しあって人的ネットワーク作りを目的に語り合いました。ある部屋のメンバーは古牧温泉名物の岩風呂へ直行してそこで大いにディスカッションしていたようです。

懇親会では、長尾直前会長の乾杯、勇壮な白銀沖揚太鼓やステージいっぱい青森ねぶたが登場したりゲームなどもあって、みちのく青森の夜はあちらこちらに咲いた緑友の和を暖かく包んでいました。

第41回全国印刷緑友会あおもり総会  
実行委員長 坂本勝克



## 平成9年度（第40期）決算報告書

（平成9年4月1日～平成10年3月31日）

### 収入の部

（単位：円）

科 目	本年度決算額	摘 要
会 費 収 入	3,220,200	$39 \times 27,000 = 1,053,000$ $1,204 \times 1,800 = 2,167,200$ 3,220,200
前期繰越金	420,207	
雑 収 入	1,400,000	東京大会より
受 取 利 息	1,317	
合 計	5,041,724	

未収金 117,000円（2グループ）

### 支出の部

（単位：円）

科 目	本年度決算額	本年度予算額	摘 要
総 会 補 助 金	400,000	400,000	長野総会
大 会 補 助 金	400,000	400,000	東京大会
セ ミ ナ ー 記 録 費	0	300,000	
セ ミ ナ ー 補 助 金	300,000	300,000	仙台セミナー
機 関 誌「緑友」	1,300,000	1,300,000	やまなし印刷若人会
会 議 費	0	300,000	
会 計 事 務 費	100,000	100,000	
総 務 事 務 費	100,000	100,000	
書 記 事 務 費	100,000	100,000	
渉 外 事 務 費	50,000	50,000	
名 簿 事 務 費	100,000	100,000	
広 報 事 務 費	50,000	50,000	
印 刷 通 信 費	153,380	70,000	銀行払込料2,940 要覧代121,040 領収証印刷29,400
会 長 活 動 費	200,000	200,000	
次 期 繰 越 金	1,788,344	371,007	
合 計	5,041,724	4,141,007	

### 平成9年度繰越金処理（案）

当期繰越金 1,788,344円

上記の金額を次のとおり処理する

緑友基金繰入 1,400,000円  
次期繰越金 388,344円

### 緑友基金会計報告

（平成10年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	金 額	摘 要
定 期 預 金	6,139,009	長崎銀行 千歳支店
受 取 利 息	4,098	
合 計	6,143,107	

### 監 査 報 告

上記各項の調査の結果その正確なることを認めます。

平成10年5月9日

会計監査 島 義 雄 ㊟  
 会計監査 伊 藤 文 二 ㊟



## 会則変更 (案)

### 第4章 会費

第9条 本会の会費は月額次のおりとし、半期毎（上期4月～9月、下期10月～3月）一括払いとする。

- 1 基本会費（1グループにつき月額）  
3,000円（旧2,500円）
- 2 会員割り会費（会員1名につき月額）  
200円（旧 150円）

に変更する。

### 第5章 役員

#### 第16条

（名簿は5年に1度発行 発行時）

を削除する。

### 第9章 付則

第27条 本会の所有する基金の使用については次の通りとする。

- 1 基金の使用は緊急を要する場合。
- 2 通年の予算に組み入れることが出来ない事業。
- 3 基金の執行は常任幹事会の承認を必要とする。

を追加する。

第27条を第28条に変更する。

第28条を第29条に変更する。

## 平成10年度（第41期）事業計画（案）

### イベント主管グループ長

第41回全国印刷緑友会あおもり総会 澤田 義治  
（青森県印刷青年経営者会議）

第41回全国印刷緑友会鹿児島大会 岩重 昌勝  
（鹿児島県印刷工業組合青年部黎明さつま）

第41回全国印刷緑友会名古屋セミナー 鬼頭 則夫  
（名古屋而立会）

### 事業計画

#### 第41回全国印刷緑友会あおもり総会

主管 青森県印刷青年経営者会議  
日時 平成10年5月23日（土）・24日（日）  
場所 古牧温泉渋沢公園古牧第3グランドホテル

#### 第41回全国印刷緑友会鹿児島大会

主管 鹿児島県印刷工業組合青年部黎明さつま  
日時 平成10年10月3日（土）・4日（日）  
場所 霧島みやまコンセール・霧島ロイヤルホテル

#### 第32回全国印刷緑友会名古屋セミナー

主管 名古屋而立会  
日時 平成11年  
場所 未定

### 機関誌 FRIENDS OF GREEN 発行

編集 やまなし印刷若人会  
97号：平成10年7月発行  
98号：平成10年11月発行  
99号：平成11年3月発行

### 常任幹事会

- 第1回 平成10年7月 岐阜  
第2回 平成11年1月 名古屋  
第3回 平成11年3月 佐賀

### グループ長・常任幹事会議

- 第1回 平成10年5月24日（日）  
青森 古牧第3グランドホテル  
第2回 平成10年10月3日（土）  
鹿児島 霧島ロイヤルホテル  
第3回 未定

### 緑友塾

常任幹事会に合わせて開催（内容未定）

### 「緑友サーバー」（仮題）構築プロジェクトチーム結成

チームリーダー：情報ネットワーク委員担当常任幹事  
白井 慶吾

## 平成10年度（第41期）予算（案）

（平成10年4月1日～平成11年3月31日）

### 収入の部

（単位：円）

科目	金額	摘要
前期繰越金	388,344	
会費収入	4,461,600	基本会費 (41×3,000×12ヶ月=1,476,000) 会員割り (1,244人×200×12ヶ月=2,985,600)
合計	4,849,944	

### 支出の部

（単位：円）

科目	予算額	摘要
機関誌「緑友」	1,300,000	97号98号99号
イベント記録費	300,000	ビデオ他
会議費	300,000	常任幹事会会場費等
会計事務費	100,000	
総務事務費	100,000	
書記事務費	100,000	
渉外事務費	100,000	
名簿事務費	100,000	
広報事務費	100,000	
40周年記念誌編纂費	200,000	
印刷通信費	70,000	
總會補助金	400,000	
大会補助金	400,000	
セミナー補助金	300,000	
会長活動費	200,000	
予備費	779,944	
合計	4,849,944	

## 次期総会開催地（案）

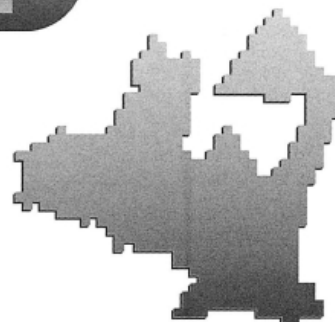
徳島 主管 徳島一二会

## 第41回全国印刷緑友会あおもり総会 ルームディスカッション

### 【ルームNo.3051】

- \* 経営理念の提示
- \* 従業員の高齢化とD.T.P
- \* 経営計画書作成 経営者の世代関係
- \* 明石大橋の開通による営業展開
- \* 経営理念
  - 1.印刷の基本、正確に美しく
  - 2.お客様に対する情報を提供する。100年後の世界（変化しないもの）
  - 3.人に対しての感謝
  - 4.社会に対する奉仕
  - 5.社員と社長は同志、お客様には負を与えるな
- \* 経営者の世代（親と子）

他業種からの転職 良かったか？悪かったか？  
他社（印刷会社）に5-7年後印刷業の勉強  
グローバル化、株主と経営者の分業
- \* 工場の美化から保全
- \* 神戸地震の後遺症
- \* イベントの関係



### 【ルームNo.3055】

日本でも有数の温泉である古牧温泉で開催されました、青森総会においてルームディスカッションの座長を仰せつかり、一時は参加を見合わせようかとも思いましたが、緑友の集いでは「未知との遭遇」「温故知新」「酔狂伝」「日本奇人巡り」「友情と熱狂」・・・とにかく言い尽くせない何かに出会い、そのことが参加者一人一人に新しい自分を発見してもらえる機会と信じてお引き受けをいたしました。私のグループは、北は北海道南は九州・沖縄とまさに全国各地からの参加者と、緑友の常連メンバーから初参加者と、絵に書いたようなバラエティーに富んだメンバー構成となりました。酒が入らないうちは非常に生真面目な性格の私は、まずは型どおりに自己紹介で時間を稼ぐ作戦で口火を切らせてもらいましたが、初対面の方が多く個々の企業の話や、参加グループの状況を聞いているうちに、「狭い日本の奥深さ」と「広いと思っていた日本が本当はすごく近かった」ことを思い知らされました。最後には「おまえの視野はまた狭くなっていたぞ」の天の声が聞こえ、またまた新しい緑友を楽しんでおりました。

後半はやはり「SGML」「HTML」「インターネット」「デジタル」等々の話に花が咲き、予定の時間を消化することができました。

懇親会の席では、お風呂でディスカッションを行ったグループの話聞き、もう少しおもしろく運営ができなかった酔う前の自分を反省しつつ、堅苦しい司会進行にご協力いただいた同室のみなさまに感謝申し上げます。

また、日本のどこかでお会いしましょう。

## 【ルームNo.3056】

部屋でのトークにこだわらず青森総会のテーマである、友達をつくろうにのっとなって、裸のつきあいから始めよう、とゆう事で風呂に入りながら懇談した。

### \*D.T.P

- \*差別化への各社の取り組み（ハード、ソフト）
  - 著作権の明示
  - 特殊技術等を宣伝
  - 営業力の強化
  - 会員相互の交流
  - 情報収集の為各グループの中だけでなく緑友会を使う
- \*各界の市場
  - 不況の中いかに頑張るか

## 【ルームNo.3061】

- \*悩み、困っている点
  - 秋田-外からの圧力が驚異
  - 仙台-官公庁の依存率が高すぎる
  - 徳島-自社内の処理が多く横との交流が少ない
  - 福島-納期と値段で勝負、分業出来ない
  - 北九州-自分のキャパをうまく広げていない
  - 会社は苦戦している
- \*良い点
  - 福島-中間点を抜いて現場同士が連絡を取り合える
  - 仙台-デジタルの有効活用ができた
  - 秋田-印刷以外のものを受注（イベント等）



### \*悪い点

- 地域性によって差異が大きい
- 地方は一貫生産化がより進んでいる
- 首都圏は24時間体制分業化が進んでいる

## 【ルームNo.4051】

各グループの現状と緑友会に望む事というテーマにて意見を頂きました  
各グループとも会員確保に悩み、次世代に如何に引き継がせるかを問題提起して居ます。  
しかし次代へ云々言う前に 今を如何に生きるかが先決であり、必至で必至で取り組む姿は  
全国どこも一緒であります。

以下に緑友望む事を列記して後日の検討のテーマの一つになれば幸いです。

- \*セミナーぐらいは、交通アクセスの良いと東京、名古屋、大阪に限定すべきでは？
- \*青森セミナーのように部屋割りはシャフルすべきである。
- \*部屋割りは参加グループ別でないと移動等に困る。
- \*ニューリーダーが育たず困るが、育成しなければならない。
- \*予算が苦しいから遠方での大会は困る。
- \*緑友の大会で色々な所に行けるから、今以上に色々な所へもっていくべき。  
その他etc.でしたが、とにかくみんな頑張ろうという事になりました。

## 【ループNo.4055】

私達のグループは参加者8名でした。

自己紹介の中で、1.生の情報交換（会社経営で困っていること）2.緑友会の意義を語り合う。3.緑友会でのネットワーク作りとは。以上3点を含んで発表を行って頂き、その都度質問やアドバイス、意見などを織り交ぜて進行していった。

共通の問題として、価格競争が厳しい。景気が悪くなってきた。売上げが伸びない。社員の高齢化が不安などがあった。又、裏表、両面を持つ問題も出された。

小企業がゆえに、同族会社で経営がやりにくいという意見もあれば、又同族会社ゆえに任せられる。安心だ。・・・とか。又DTPの部分では、価格競争になればどうしてもDTPの部分で値引きするなど、DTPでは値段が取れないという意見もあれば、見積もりの見方を変えて、例えば印刷費とは別に企画料みたいな項目で価格が取ればなどの意見。

社内におけるデジタル化が進めば加工高が上がり利益が出る。または、デジタル化は金がかかるし、面倒だから外注依存の方が楽である。など。

その他として、クライアントが伸びれば、必然的に売り上げも伸びる。印刷関連でパッケージ印刷の中から荷造、発送、加工など、印刷とは違うがそういう分野の仕事も出てきた。

周りの印刷業者の中に経営の苦しい所が見えてきた。ひどい例では倒産する会社もある。無理な設備投資や、別部屋のへの進出はリスクが大きい。

いろいろな意見が出て、予定の5時30分まで熱が入った討論となった。

最期に緑友に出席するようになって、グループの中も活性化が出るし、友達も出来た。全国の仲間が増えてきた。年賀状など届いて心強い。

皆さん、同じ土俵で戦っている顔を拝見して、日々の仕事の糧になる。



## 【ループNo.4056】

参加者 松口（大阪）荒崎（鹿児島）大谷（徳島）松野（仙台）森川（名古屋）長田（やまなし）佐々木（広島）岡田（名古屋）藤井（若葉会）

《会社経営で困っている事》

発注ロットの小口化

デジタル対応、オンデマンド印刷の問題

社員の若年化、職人から若手への技術移転

社員教育、自主性を育てたい

価格競争、大手の安売り、大手の小口への参入

大手の内製化による中小へのシワヨセ

不況感、新版が激減

《対策及び課題》

伸びる企業、発注してもらえない理由を真剣に考えることが必要である。又、大手、他社との差別化が図れない企業は生き残れないのではないか。

他社がやるから自社もやるでは将来必ず価格競争となり収益率が低下する。

印刷業界のデジタル化は、クライアント、ユーザーと同じレベルでネットワーク化出来る恵まれた環境である事を理解し、クライアントやユーザーと積極的にネットワークを進め、システムでの取り組みの中で新しい商品開発や新しい連帯を発掘すべきである。

直接、印刷物の受注につながらなくとも、クライアントやユーザーのパソコンやプリンターの有効活用を提案する事により印刷会社とのパイプを太く出来るのでは。



印刷物そのものの評価ではなく、ユーザーに利益をもたらすコンテンツや企画の中身で勝負すべきである。

デジタル化はオープン環境で生きる訳であるが、中小が全てを備える事は無理であり、相互の環境を理解してもらえ、クライアント、ユーザーとの取組みを考えるべきではないか。

メールによる拡販は受ける相手が既にデジタル化についての理解があり、かなり有効である。オンデマンド印刷は即存のユーザーではなく、新しいユーザーをつくるチャンスである。又、受け皿も印刷業から転換した新しいタイプの創造が必要。逆に、印刷によるオンデマンドへの対策（小ロット、短納期）が出来れば差別化が可能ではないか。

社員教育、職人の技術移転にISOが役に立つ。

## 【ルールNo.4058】

緑友会の意義について活発な意見の交換がされた。同じ境遇にいる者にしか分かり合えない問題や、地元では相談出来ない事も、酒を酌み交わしたり、ディスカッションする事により、多少なりとも解決への道を見つける事が出来る。又、得意先が、営業を全国展開しようとした時に、紹介できる仲間をつくれる様に、努力したい。しかし今までの経緯だと、仲間料金ではあるが・・・。年に何回かの仲間に出会える楽しみ、そして一時でも発言をする機会があると企業家としての新鮮みがでてくる。

又、要望としてセミナーなどの勉強会などを増やしてもらいたい、技術習得に心掛けたい。

最期に、自社があつての緑友会なのではないかと、論議がされた。

### 《参加者の業務内容》

青柳（製版）CD-ROM制作 戸根木（印刷）オンデマンド組み版 野澤（印刷）協同でオンデマンド印刷機を購入 新山（印刷）カラー印刷を行っているが外注依存度が高い 須賀（印刷）大学、ページ物が多い 中村（印刷）従業員7名、官庁主体型 渡辺（製版）DTPシステム導入、印刷会社が内性化している 上野（印刷）官庁関係主体、フォーム印刷 棚橋（紙製品）

\*得意先の確保・信頼を得るために

消費税3%→5%になった時、2%は販売価格には転嫁しない

\*卒業アルバムの納期を緩和する為に卒業式の写真を  
入れて提案し納期の集中を避ける。

\*官公庁入札物件の内製化

週40時間制の企業優先（入札業者としての）

\*CTPについて

情報管理することシステム上の問題は我々が考えている

\*異業種（特に文具関係）の参入が目立ってきている

\*品質へのこだわりが必要なのか？

\*本当に顧客ニーズに見合う仕事を行っているのか？

\*技術革新はそこそこ終わった。メーカーに振り廻されるな？

\*設備投資はほどほどにし、即存の設備、技術で特化した企業に!!

\*営業上の戦略が必要になってくる。賢い営業提案が会社を救う!!



## 【ルームNo.4061】

10名全員参加され、始めました。

自己紹介に続いて、レポートに書けない位大幅に脱線しましたが、緑友会の意義について語り合いました。しかし大幅脱線のおかげで本当の知人を作る事ができた様な気がします。

緑友会の意義について

色々な情報が集まる場。参加するとたいへん参考になる。地元では話せない悩み等、生々しい話や相談ができる。

全会員、同業者や同じ二世としての悩みを持っているので、同じテーマで語り合える。

これから期待したいのは、差別化等、ソフトを中心に体験談を聞きたい。松浦会長の言われる「ただただ楽しい緑友」については、ドンドン夫婦で参加出来る様な企画がほしい。たとえば大会等で開催場所を生かして、プライベートの時間も取ってほしい。セミナーや総会では、会員のみが参加している時間は、同伴者がたいくつするので奥様教室でも企画してほしい。

グループ長会議の時間も同じ事が言える。

我々が今、緑友会に貢献する事は、若いこれからの会員に緑友の素晴らしさと楽しさを伝える事である。「そのためにも、かわろうよ緑友」



## 【ルームNo.5055】

小倉克夫（茨城）逸見義法（新世会）福田真太郎（同友会）須藤芳昭（青森）松浦正欣（佐賀）江馬康雄（仙台）山口善生（長崎）岩上伸人（金沢）水谷元（名古屋）田谷正雄（青森）

当部屋のディスカッションは全員の自己紹介から始まった。10人のメンバーは、中村守利会長の頃から緑友会に参加している方からまだ参加して間もない方まで、したがって年齢的にもバラバラで構成されていた。自己紹介の後、当部屋にはどういう訳か現執行部の中心メンバー、松浦会長、江馬総務、そして山口会計が参加していた為、まず松浦会長から今回のルームディスカッションの元となった会長方針について話を聞き、その後お一人お一人に緑友に対する思いを話していただいた。緑友会に対しての意見は、参加して日の浅い会員からは、①とっつきは悪くない ②印象はいいなどの意見から ③居づらい場所、又④初めて参加の為よく分からないが自分達の会の運営と比べてみて末端の会員との考えの違いを感じるなど。⑤ある程度の参加をした会員よりは、自分の会が全国総会の開催地を受けるまでは地元だけの集まりという考えが強かったが、その後は大会やセミナーを受けるまでになった。これからは若手の参加を考えている。⑥ふり返ってみると参加してすぐに昔はこうだったと言われるのがイヤだった。昔の事は知らないし、これからの事を話し合いたい。⑦自己研鑽の場という思いでいるが、もう少しやわらかく柔軟になってみてはと思う。本日の総会を見てみると非常に固さを感じる。⑧会としては拘束のない会だと思し、又、人間性のある人達の集まりだと思っている。⑨参加して色々な情報ももらって恩恵を受けました。そのお返しのためで役に付いています。等々。参加者の意見をならべただけですが結論は出してませんのでまとめはできません。部屋長としての反省点は、少し真面目に話しすぎたかなと思っています。次回はもう少しくだけてみようかな・・・。

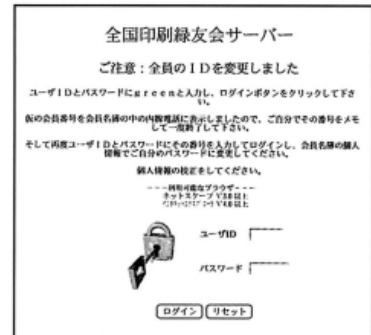


# 緑友サーバーのテスト運用開始

事業計画に基づいて、全国印刷緑友会の情報をデータベース化する目的とそのサーバーとアクセスするアプリケーションを公開実験しています。

簡単に仕組みをご説明します。

1. 通信にはインターネットを使います。インターネットブラウザの代表的なものを使ってアクセスしますので、WindowsでもMacでも、世界のどこにいても緑友サーバーにアクセスできます。
2. データベースは一元管理できます。随時、登録、照会、更新ができ、最新の情報が取り出せます。
3. 会員の自由な発言、行事予定、会員名簿、会議の議事録、報告をネットに載せて、デジタルデータで保存するものです。



## 《使い方》

1. インターネットURLに<http://www.olv.co.jp/green/index.htm>と入力します。
2. 全国印刷緑友会のタイトルが出ます。最初にアクセスする会員は、IDとパスワードにそれぞれgreenと入力します。この理由は会員みなさんにIDとパスワードをお知らせしていませんので、まず、個人のIDとパスワードを把握していただく為のものです。
3. ログインのボタンを押して、成功すると画面が出ます。
4. 画面左の枠の中にある「会員名簿」を選択します。
5. 氏名にお名前だけ入力して検索しましょう。例えば白井と入力して、検索開始ボタンをクリックします。グループ名からの選択もできます。
6. すると、約1860名の名簿の中からお名前を表示します。
7. ご本人の名前が青字で表示されていますので、その名前をクリックすると会員情報が出ます。
8. 内線電話のところに表示している番号が、あなたのIDとパスワードです。メモしてください。
9. 終了するを選んで、ログイン画面に戻るをクリックします。
10. タイトル画面から今度は、先ほどのIDとパスワードを入力します。
11. すると、今度は、個人の名前でログインしたはずです。
12. 画面左の枠の中にある「会員名簿」を選択します。個人情報を開いてパスワードを修正しましょう。次回ログインする時は、このIDとパスワードでログインします。

要約すると、

1. IDとパスワードを知るために、greenでログインする。
2. 「会員名簿」の内線電話でご本人のIDとパスワードをメモする。
3. そのIDとパスワードで再度ログインする。
4. 「会員名簿」の個人情報でパスワードを変更する。

という手順です。

各グループ長は会員の情報を頻繁にメンテナンスしていただき、グループの活動状況、行事予定、掲示板等を更新して下さい。

テスト運用ですので色々な使い方やご意見をお寄せください。

重ねてお願いします。

# 平成10年度 第1回グループ長・常任幹事会

日時 1998.5.24 午前6時30分

場所 古牧温泉 渋沢ホール

1. 開会（江馬氏）
2. 議長選出（常任総務江馬氏）
3. 出席者の確認
4. 資料確認
5. 議事録作成人指名（木下氏）
6. 会長挨拶（松浦氏）
7. 直前会長挨拶（長尾氏）
8. 報告事項



①各常任幹事・各グループ長  
自己紹介

②名簿発行について（棚橋氏）

予定では青森総会での発行でしたが、郵便番号、写真の変更、未データー・グループ等で若干遅れており、発行日は9月末との報告があった。

③名古屋セミナーについて（名古屋而立会各メンバー）

日 程／平成11年2月20日（土）

12：00～	受付開始
1：00～5：00	セミナー
5：30～6：30	懇親会
6：30～	フリー

場 所／名古屋市内

登録料／10,000円前後

テーマ／会社をソフトランディングさせるには（仮）

概 要／近年いろいろな形式のセミナーが開催されていますが、セミナーという言葉通りの本来の姿に戻って、形式にとらわれず、セミナーらしいセミナーを開催し、懇親会も日帰りの方の時間、一泊される方の名古屋らしい夜のお楽しみ等を考慮して設営したいと説明があった。

④松浦会長より

セッティングをしていただいた青森印刷青年経営者会議の皆さん、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げますとご挨拶がありました。

### ⑤40周年記念誌について（小倉氏）

編集委員長には松浦会長にお願いする。骨子はだいたい決まったが、内容等についてはまだまだと説明があった。各グループの歴史を書いていただいたのでグループ長の皆さんにご協力をお願いしたい。資料については後で送る。緑友サーバーを作って、CD-ROMに資料等を今後保存しておく。

### ⑥全国緑友会鹿児島大会について（岩重氏）

日 時／平成10年10月3日（土）

場 所／宿泊霧島みやまコンセール

懇親会／霧島ロイヤルホテル

第2回全国緑友会グループ長・常任会議は10月3日（土）に行う。交通アクセス等については、各グループに早めにご案内を差し上げると説明があった。内容については、第4回の議事録の通りと報告があった。

### ⑦全国緑友会徳島総会について（徳島一ニ会各メンバー）

日程については、平成11年5月の第4週日を予定している。P、R、スケジュール等については、今から準備をしていくと説明があった。グループの人数が12名で少ないので、神戸印刷若人会の皆さんのご協力をお願いしたい。

## 9.各グループ長からの報告

### ①岐阜印刷翠陽クラブ40周年記念式典

平成10年7月11日（土）長良川ホテル新館で行われますので合わせて、第2回の常任幹事会を7月12日（日）の午前中に開催の予定と説明があった。

### ②総務より

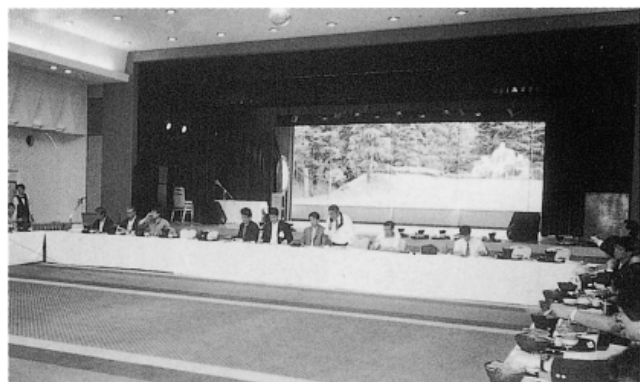
平成10年度の各グループの新しい名簿を江馬氏までFAXか、郵送で早く送ってほしいと説明があった。

### ③『緑友サーバー』について（松浦会長）

緑友の資料がその年度で終わって行方不明になっている。事務局もないので緑友の資料保存が出来ていない。電子的に情報を保存していきたいと説明があった。サーバーの設置について、白井氏よりインターネット方式でデータを各グループの皆さんにホームページを開いて、試験的に（FOG）仮称で進めていきたいと説明があった。

## 10.総務常任幹事より（江馬氏）

それでは、本日第1回グループ長、常任幹事会を終了させていただきますとご挨拶があり、解散（拍手）。





# 事業報告

## ぎふ印刷翠陽クラブ40周年記念式典

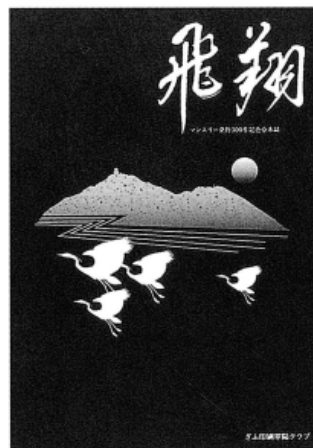
主催：岐阜印刷翠陽クラブ  
日時：平成10年7月11日（土）  
会場：長良川ホテル新館

行って来ました。しか～っし！そこは、「う～ん、知ってる人が居ない！この状態で岐阜製版さんへ見学ですか（40周年記念式典の前に岐阜製版さんに見学）？しかも人数が少ない・・・。」けれども、さすがに「見に行った方が今後のためだよ。」と、言われただけあって、見学をさせて頂けて本当に良かった。製版、校正、刷版で、あれだけ大規模にやっていたなんて。いろいろと聞きたい事があったのですが、何も聞けずじまいでした（失敗）。

さて、話は本題の岐阜印刷翠陽クラブ40周年記念式典ですが、まず最初に手渡されたものがMONTHLY REPORTを一つにまとめた「飛翔」と「CD」。「飛翔」は毎月欠かさず発行との事で、ナイスです、はい。式典ですが、最初の方は緊張していてほとんど身に入っていないのですが、各行事開催の報告や、CDを使っただけの歴代会長の報告。また、黎明さつま岩重氏の奥さんの挨拶が大ウケでした。終わりの方では、何人かの方々とお話が出来たので今回参加させて頂けて良かったと思います。最後に、ココはカップルで来て、夜 長良川の鵜飼いを見るのもよし、男性のみで街へ出るのもよし、けっして男性二人でホテルのテラスで、長良川の鵜飼いを見るものではないですね。

ちなみに隣は、黎明さつまの岩重氏夫婦でした。

(記：やまなし印刷若人会 吉岡秀樹)



## やまなし印刷若人会 Windows DTP勉強会

### 第3.4.5.6回講座（基本操作編）

日時：平成10年8月 3日（月）午後6時～9時      平成10年9月11日（金）午後6時～9時  
          平成10年8月10日（月）午後6時～9時      平成10年9月17日（木）午後6時～9時

場所：ポリテクセンター山梨 第2 OAルーム  
          南甲府警察署通り向かい TEL0552-41-3218

講師：井上文人氏（システムアドミニスレーター）

内容：第3回・・・Windows基本操作      第5回・・・エクセル97基本1  
          第4回・・・ワード97基本            第6回・・・エクセル97基本2

# ハイサイ

沖縄県青年印刷若潮会 宮城徳仁

ハイサイ、グスヨー、ガンジュウ、ヤイピータガヤー・・・！（こんにちは、皆さん、お元気でお過ごしでしょうか・・・！）7月の沖縄は太陽が元気過ぎて毎日30℃を超えオリオンビールが水の替わりです。（おいしすぎてビール腹の今日この頃・・・）フランスでの世界のお祭り、W杯は開催国フランスの優勝で幕を閉じた。4年後のW杯は日韓共同開催、日本代表選手には、せめて決勝トーナメントに進める力をつけてもらい、4年後のW杯に向けて今の不況を国民一丸となって吹き飛ばして貰いたい。

'98年参院選は自民党の惨敗に終り、その責任を取って橋本総理の退陣表明。（7/15現在）国民の“この不況をどうにかしてくれ”と怒りの投票結果だと思う。'98年上半期の企業倒産件数（負債1千万円以上）が1万件突破し『販売不振』『業界不振』を主因とした【不況型】倒産が増加し景気はデフレーション不況への悪循環に入り込み、倒産は一段と増加すると指摘されている。我々印刷業界も【不況業種】に指定された。不況業種指定の条件は、最近3ヵ月間の月平均実質売上高が前年同月比5%以上減少し、かつ最近月10%程度減少していることを日本印刷産業連合会から国に申請し受理された。なんとも寒い御時世である。沖縄の印刷業界もこの【不況業種】にきれいに当てはまり苦しい状況であります。沖縄の那覇空港に世界最大規模の航空貨物会社フェデラル・エクスプレス（フェデックス）が乗り入れ、世界の主要都市を結ぶ航空貨物ネットワークに沖縄が組み込まれ、フェデックスが進出した世界の都市を見ても、進出後に急速に繁栄拡大するケースがあると言われ、沖縄那覇空港が、国際航空貨物のハブ（拠点）空港化で沖縄経済の立て直し、発展に向かえば、我々、印刷業界も回復するであろう希望的観測を捨て切れない。この不況で常々、挨拶が“暇だなあ～！”では、気が滅入ってしまう、それで今回のリレーエッセイを鹿児島県黎明さつまの荒崎 誠ちゃんから紹介された時、『この不況の中、不況に強い風俗をレポートし、皆様に楽しんでエッセイを読んで頂こうと、誠ちゃんは鹿児島の風俗、俺は沖縄の風俗をレポートし、エッセイに・・・』と話し合っておりましたが、誠ちゃんから話しがあったのが6月中旬、体を張って取材をしたのですが、（とても大変でした・・・）やまなし印刷若人会 北條編集長より7/17が締切日と指定され（北條さん、締切りぎりぎり、すみませんでした）レポートする時間がありませんでした。10月3日の鹿児島大会でご報告申し上げますので聞きたい方は、私と酒を酌み交わしましょう。その代わりと言っては何ですが、次回のリレーエッセイは、私の師匠（なんの師匠だよ・・・？ ムフフ・・・）名古屋 而立会の浅井 宏師匠をご紹介します。次の担当は、日本のへそ名古屋 而立会の浅井 宏さんです。

浅井 宏 (株)浅井隆文社  
名古屋市中村区太閤四丁目8番地3号  
TEL(052)451-6656 FAX(052)451-6657



◆第41回全国印刷緑友会鹿児島大会

開催日：平成10年10月3日(土)・4日(日)

会場：みやまコンセール 霧島ロイヤルホテル

登録料：29,000円

主管：鹿児島県印刷工業組合青年部黎明さつま

第32回  
全国印刷緑友会  
名古屋セミナー

◆第32回全国印刷緑友会名古屋セミナー

開催日：平成11年2月20日(土)

会場：

登録料：10000円

主管：名古屋而立会

第42回  
全国印刷緑友会  
徳島総会

◆第42回全国印刷緑友会徳島総会

開催日：平成11年5月23日(土)

会場：

登録料：

主管：徳島一代会